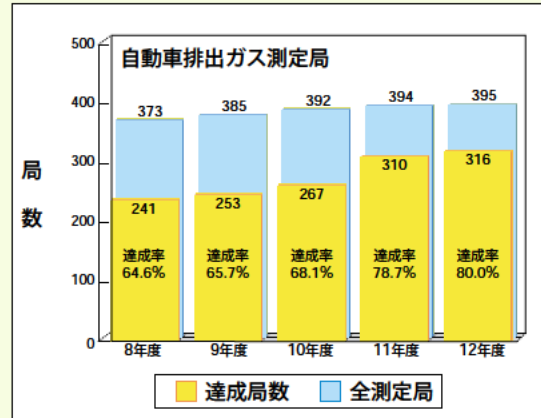
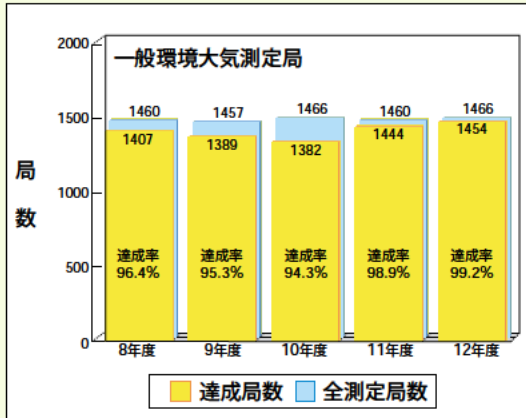


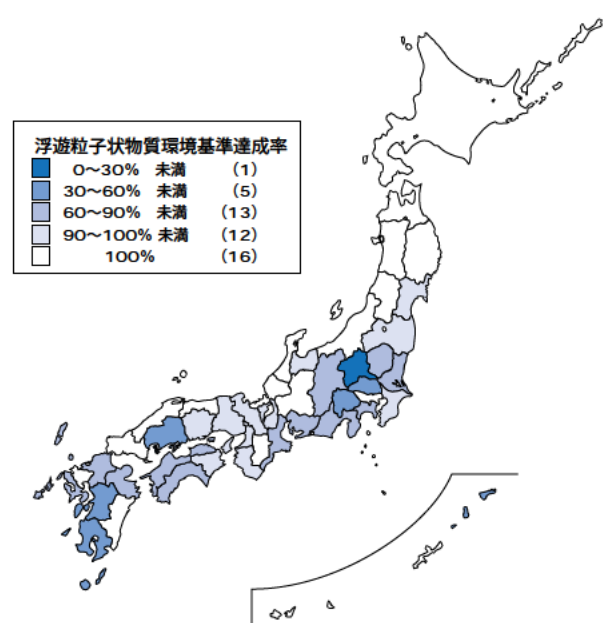
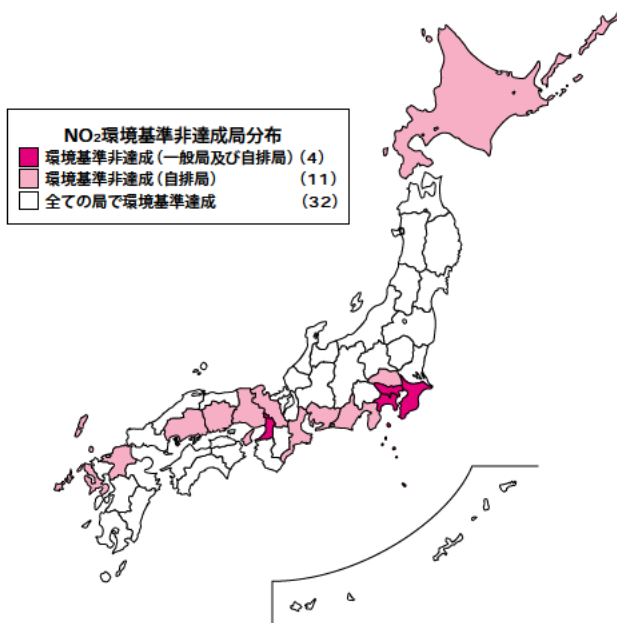
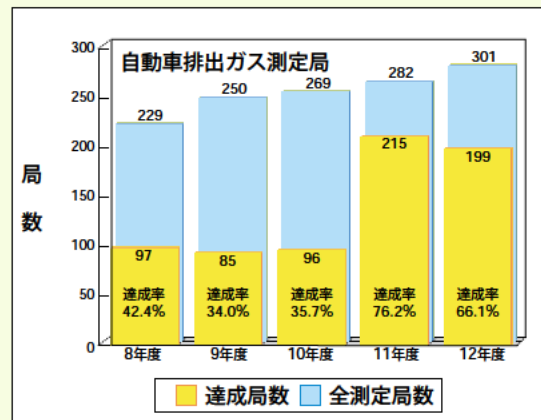
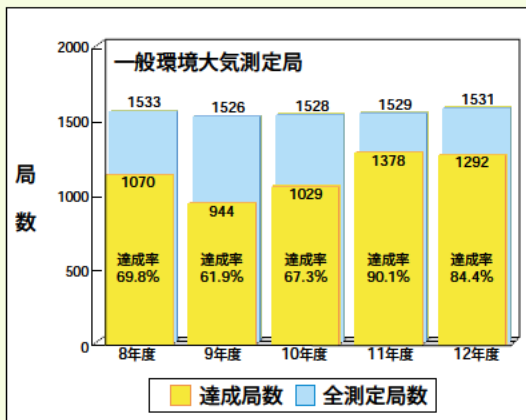
2 大気環境の現状について

全国の状況

二酸化窒素 (NO₂)



浮遊粒子状物質 (SPM)



三重県内の状況

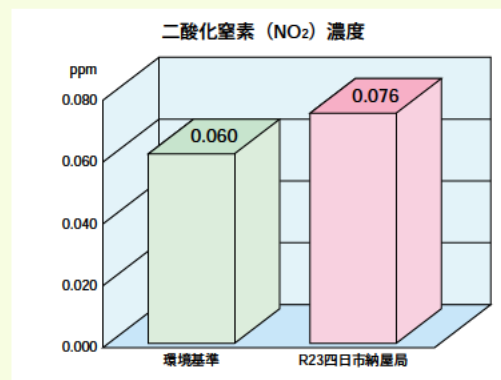
本県の国道23号線沿道の大気汚染の状況は、四日市市内で二酸化窒素及び浮遊粒子状物質が、平成11年度及び平成12年度と2カ年にわたり環境基準を超過しました。

特に平成12年度の納屋局の二酸化窒素は過去最高の値となっており、全国の自動車排出ガス測定局394局中で10番目に高い値（0.076ppm）を示しています。

○県内の自動車排出ガス測定局（6局）

対策地域内 国道23号四日市納屋局
4局 国道23号鈴鹿局
国道258号桑名局
東名阪局（四日市）

対策地域外 国道25号亀山局
2局 国道23号三雲局



(参考) 環境基準(長期的評価)

NO₂ (二酸化窒素)

年間における日平均値の測定値の低い方から98%に相当するものが、0.06ppm以下であること。(365日のうち8番目に高い日の値)

SPM (浮遊粒子状物質)

年間における日平均値の測定値の高い方から2%を除外したものが、0.1mg/m³以下であること。但し、0.1mg/m³を超える日が連続しないこと。